

○第72回肥料・飼料等/第42回微生物・ウイルス合同専門調査会
(薬剤耐性菌に関するWG)

日時：平成25年6月18日(火) 14:02~16:22

議事概要：

(1) 鶏に使用するフルオロキノロン系抗菌性物質製剤に係る薬剤耐性菌に関する食品健康影響評価について

・審議の結果、

- リスクの程度は中等度であると考えられた。
- なお、「その他の考察」における付帯事項等については、継続審議とされた。

* 広範囲な抗菌活性を持っている抗菌性物質で、感染症の治療に使用されています。

(2) 家畜等への抗菌性物質の使用により選択される薬剤耐性菌の食品健康影響評価について

飼料添加物フラボフォスフォリポール

・審議の結果、

- フラボフォスフォリポールを家畜等に使用することによって選択された薬剤耐性菌が、食品を介してヒトの健康に影響を与える可能性は無視できる程度と考えられる。
- なお、薬剤耐性菌に関する詳細な情報について、現時点では十分とは言えないので、リスク管理機関である農林水産省において引き続き情報の収集に努めるべきと考える。

とすることが了承され、評価書(案)を一部修正の上、食品安全委員会に報告することとなった。

* ホスホグリコリピッド系抗生物質で、鶏及び豚等の飼料添加物として指定されています。